

2016年

Kさんの受験体験記

受験校 秀光中等教育学校【東京選抜】(合格)、東京都市大学附属等々力【S特選】(合格)、世田谷学園第1次・世田谷学園第2次(不合格)、成城中学第2回(不合格)、世田谷学園第3次(合格・進学)

私共の息子は決して優秀な受験生ではありません。サピックスから転塾して四谷大塚系の塾に在籍する偏差値50に満たない子でした。水泳部のある中学校を目標に、南雲先生には過去問を月1～2回のペースで個別指導をしていただいております。

国語は量をこなしたからといって点数が上がるという科目ではなく、「指導力のある先生に巡り合えるかどうかにかかっている」というのが実感です。「線は引かない、選択問題はなんとなく、自信がないと記述は白紙」という状態からのスタートでした。あまりの有様に親としては申し訳ない思いで一杯でしたが、先生は「出来ないのではないです。解法を知らな過ぎてかわいそう。これから点数は伸びますよ！」と息子に声をかけて下さいました。「これがやる気を引き出す声かけか。」と、目から鱗が落ちる思いでした。

私には反抗的な態度の息子が、素直に先生の言うことには耳を傾けていました。回を追うごとに最低限ですが線引き、選択問題では根拠を探す様になってきました。記述もまだまだ余計なことを書いたりしていましたが、見当違い過ぎる解答は減っていきました。合不合の偏差値は、4月は国語47.8、4教科48.0でした。12月は国語46.4、4教科50.3でした。あまり変わっていないと思われるかもしれませんが、10月には国語56.0もありましたし、首都圏模試は11月だけですが、国語56、4教科63でした。少しずつ変化が出てきていました。算数の文章題でも読み間違いがなくなりましたし、社会の記述も褒められるようになっていました。

1月の最後の授業は、世田谷学園の昨年の第3次をお願いしました。問題集では解説が省略されている回です。南雲先生は「それこそ私の出番です。」と見事な解説をして下さいました。ただ、この年度の文章はかなり哲学的で難しく、どの回も得点し難かった為、志望校をどうすべきか相談させていただいた所、「ここまで来たら偏差値の1～2の差は気にせず、受験したい学校を受けるべき。難しかった次の年は調整が入るかもしれませんよ。」と、アドバイスをいただきました。

その言葉で迷いも消え、1月の最後の1週間で世田谷学園の過去問(4科目)をもう1度やり直すことにしました。1度目では合格ラインに届かなくても、2度・3度と繰り返すことによって合格ラインに届き、「これなら大丈夫！」と思わせてから本番に臨む作戦でした。

1 日午後の都市大等々力S特選（偏差値 54）に合格できたため、本命の世田谷学園を 3 回受験することができました。午後は通っている塾へ行って、解けなかった問題の解説と第 3 次の対策をやっていただいたので、1 日午後に合格をいただいたのは大きかったです。日を追うごとに、右肩上がりに成長しているのが実感できました。受験をしながら成長するというのは本当だったのです。

しかしながら、連日不合格を突き付けられることはかなり辛く、くじけることもありました。3 日の成城は手応えがあったにもかかわらず届きませんでした。息子は、「体力的にも精神的にももう限界だ。」と言ってお風呂に入ったまま、長い時間出てくるのが出来ませんでした。塾に報告の電話をして励ましていただき、私からも「2・3 日はもっと難しい学校を受けた受験生も受けに来るから大変だったね。運動会の徒競走でリレーの選手と同じグループになって 3 位に入賞できないのに似てるかも知れない。4・5 日はもうリレーの選手はいないから大丈夫だよ。」とだけ話して寝かせました。

4 日は世田谷学園第 3 次だったのですが、朝、「やっぱりプールのある学校に行きたいから…。」と言って起きてきました。そして、「校門で一礼するから、お母さんも一緒にやって。」と言われました。世田谷学園の生徒は登校時に「自己をみつめ、今日を精一杯過ごそう」という意味で校門で一礼するそうなのです。他に礼をしている受験生はおりませんでしたので、かなり恥ずかしかったのですが、親子でしっかり一礼してから入りました。12 歳の少年の想いが通じたのでしょう。2 月 4 日の世田谷学園第 3 次をもって、我が家の受験は終了となりました。

南雲先生には、「奇跡が起きました！」と報告させていただきました。偏差値 50 の子が 56 の試験に受かったのです。思い切ってチャレンジして本当に良かったです。アドバイス通り世田谷学園の国語の問題文は読みやすくなっていました。先生のご指導無くしては、この合格は無かったと心から思っております。いつも優しく教えて下さる先生を息子は大好きでした。苦しんだ末に合格を掴み取ることができ、得難い体験ができたと思っております。本当にありがとうございました

。今月から下の子が塾に通い始めます。また、6 年生になりましたら、是非ご指導いただきたいと願っております。